

「昭和の写真調査会」—教えて!この写真いつ?どこ?なに?—

資料館にある城陽市内の昭和30~50年代の写真について、場所や年代や内容などご存知のことを教えてください。1枚の写真から会話をはずませましょう。また古い写真も随時募集しています。

日時 令和2年3月7日(土) 14:00~16:00 (受付13:30~15:00頃)
場所 城陽市歴史民俗資料館 工作室
対象 昭和30~50年代の城陽市内のことがわかる方等
定員 25名程度
参加費 無料(参加された方は、当日の資料館入館料が無料になります)
申込み 不要

例えば…こんな写真!!や



あんな写真!!

イベントのご案内

勾玉をつくろう!

日時 令和2年1月25日(土)
2月23日(日・祝)
3月28日(土)
13:30~(受付終了15:00)
場所 城陽市歴史民俗資料館 工作室
対象 小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴)
定員 15名
参加費 おとな 200円
小・中学生 100円



※事前申込みは不要です。受付終了時間まで随時参加可能ですが、お待ちいただく場合があります。

体験教室

1 エコピンクッション(針山)をつくろう!

日時 令和2年2月23日(日・祝)
13:30~(受付終了15:00)
場所 城陽市歴史民俗資料館 工作室前フロアー
対象 小学生~大人
定員 15名程度
参加費 無料(入館料必要)

2 くみひち組紐でつくるストラップをつくろう!

日時 令和2年3月28日(土)
13:30~(受付終了15:00)
場所 城陽市歴史民俗資料館 工作室前フロアー
対象 小学生~大人
定員 15名程度
参加費 400円

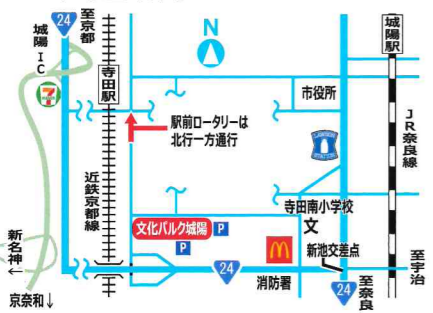
①・②共通 **申込み** 当日15:00まで資料館受付にて申込み(先着順)
※受付終了時間まで随時参加可能ですが、お待ちいただく場合があります。



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

交通案内



近鉄京東線寺田駅下車 東口より南へ450m
JR奈良線城陽駅下車 南西へ1300m
(JR城陽駅よりさんさんバスで文化パルク城陽下車)

■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
12月27日~1月4日

■観覧料 おとな 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
<団体料金>おとな 160円(110円)
小・中学生 80円(50円)
※団体は20名様以上
※()内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料

<次の方は観覧料が免除されます>

- ★城陽市内在住の65歳以上の方
- ★城陽市内在住の小・中学生
- ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
- ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(ただし、児童・生徒のみ)

冬季企画展 スタート

冬季企画展 最終日

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11	9	10	11	12	13	14	15	8	9	10	11	12	13	14
12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25	23	24	25	26	27	28	29	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31	1								29	30	31				

五里ごり館
開館カレンダー
印は休館日

五里ごり館通信

五里ごり館

城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)

〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612



東京オリンピック聖火リレー城陽町役場前中継点 昭和39年9月28日

JOYO 令和元年度冬季特別展

ちよつと昔の暮らしと風景
1964東京オリンピックの頃

令和2年1月25日(土)~
3月15日(日)

期間中の休館日 1月27日、2月3・10・12・17・25・26日、3月2・9日

冬季特別展関連事業

昔の手しごと...ちよこつと体験

①かごあみ 令和2年2月16日(日)
②糸つむぎ・綿繰り 令和2年2月29日(土)
時間 13:30~15:30(受付15:00まで)
場所 資料館工作室
講師 資料館職員
対象 小学生以上
定員 20名程度
参加費 無料(ただし入館料必要)
申込み 不要

手作りワークショップ

「昔の道具をモチーフにしたオリジナルのキーホルダーをつくろう!」
プラバンを使って世界にひとつだけのキーホルダーをつくりまわす
日時 令和2年3月14日(土) 13:30~16:00(受付15:00まで)
場所 資料館工作室
講師 資料館職員
対象 小学生以上
定員 20名程度
参加費 無料(ただし入館料必要)
申込み 不要

城陽町内を走った 1964年東京オリンピック聖火リレー

「ちょっと昔の暮らしと風景」展では、進化、変化していく道具と私たちの生活を紹介します。私たちの生活は徐々に変化していますが、特に昭和30年代に電化製品が登場・普及すると、今まで手でしていた仕事を電化製品が代わりにやってくれるようになり、私たちの暮らしは一変しました。皆さんもぜひご来館いただき、今と昔の道具の違い、暮らしぶりの移り変わり、昔の人の知恵などを発見する場として活用していただきたいと思います。

また2020年の7月から9月は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。かつて1964年（昭和39年）に東京オリンピックが開催された頃、城陽はどのような町だったのかを関連資料と共に当時の様子などを紹介します。

1964年東京オリンピックの頃

●城陽にオリンピックの聖火がきた

ユニフォーム ビデオ 写真 当時の様子をビデオで放映

●東京オリンピック関連資料

ワッペン コイン 記念切手 新聞記事
『オリンピック東京大会特集』京都新聞社
『アサヒスポーツ臨時増刊オリンピック写真画報』
『週刊サンケイ臨時増刊写真特集「オリンピック1964」』



東京オリンピック記念メダル



『オリンピック東京大会特集』
京都新聞社



『週刊サンケイ臨時増刊写真特集
「オリンピック1964」』
奥村幸四郎氏 蔵



オリンピック関連の新聞
（朝日新聞・産経新聞・毎日新聞）

ちょっと昔の暮らしと風景

●衣

ミシン 針箱 炭火アイロン
火のし こて たらい
張り板 かご 物干し再現



ミシン



●家族だんらん茶の間の風景

ちゃぶ台 水屋 ラジオ テレビ 黒電話
やぐらこたつ 火鉢 十能

●働く

自転車 回転式脱穀機 籾さがし
風呂鋤 風呂鋤 備中鋤 田植網
田打車 ふるい 一斗ます



自転車

●食

羽釜 ふご おひつ まな板
かつお節けずり 氷冷蔵庫
火消し壺 かまど再現



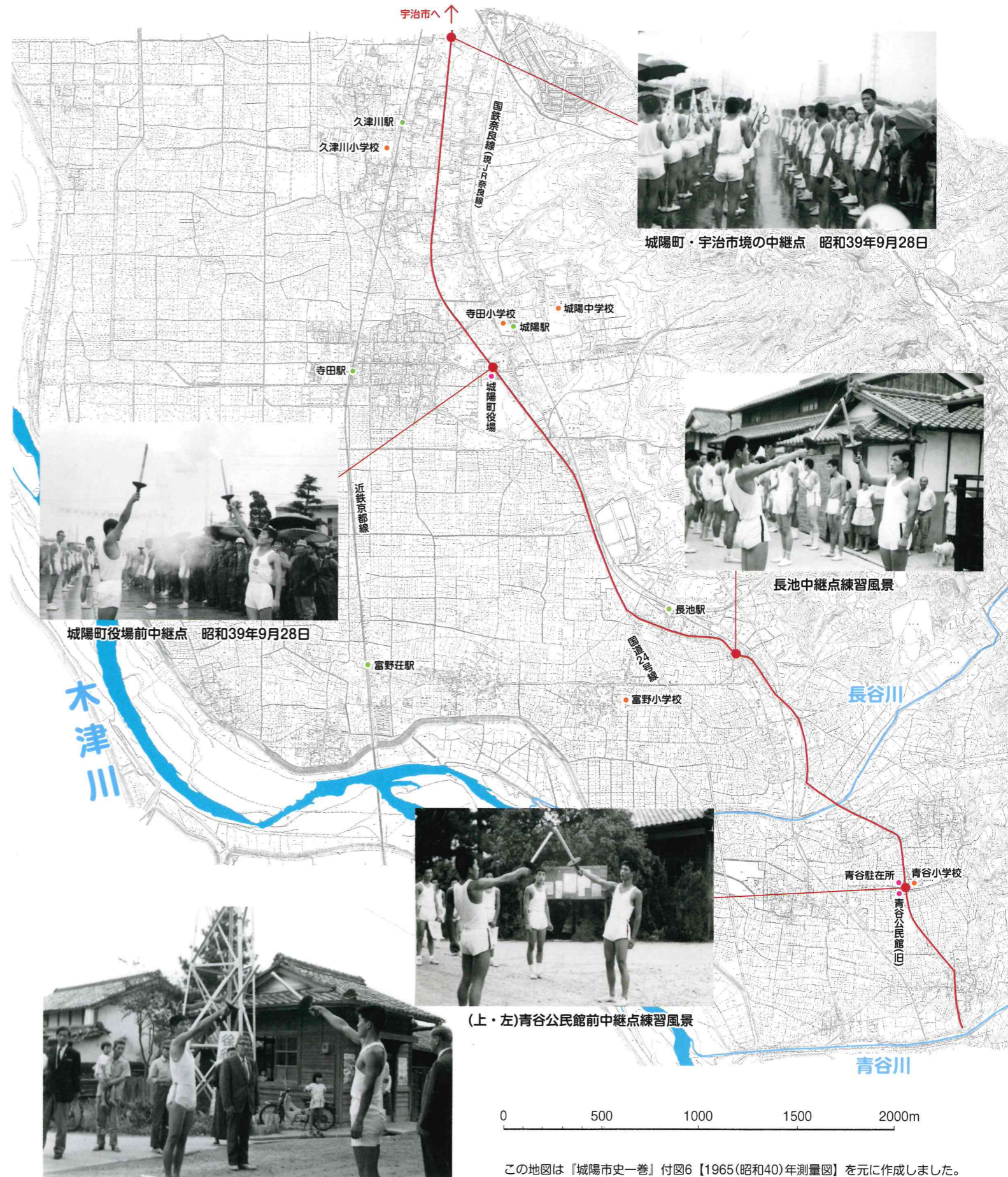
羽釜

●住

あんか 湯たんぽ 炭入れ
鏡台 扇風機 蚊帳 かご
置き薬 踏み台



あんか



0 500 1000 1500 2000m

この地図は『城陽町史一巻』付図6【1965(昭和40)年測量図】を元に作成しました。